



カトリック長崎大司教区
広報委員会
〒852-8113
長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-843-3417
振替口座 01880-5-2699
発行人
大 水 文 隆
印刷所
株式会社 藤木博英社
〒850-0852
長崎市万屋町5-13
Tel. 095-821-2146
Fax 095-821-2148

年頭教書

神のいつくしみを
共に生き、伝えよう

大司教ヨセフ 高見 三 明



長崎教区のすべての皆様お一人一人に、新年のごあいさつを申し上げます。日本の信徒発見150周年を記念した昨年のお恵みを神に感謝すると同時に、お祈りとご協力を惜しまなかった皆様方に心より感謝を申し上げます。

1 いつくしみの特別聖年と
教区シノドス提言実施元年

教皇様は、昨年12月8日(今年11月20日)を「いつくしみの特別聖年」と定められました。今年から教区シノドスの提言を教区全体として本格的に実施しようとしているわたしたちにとって、摂理的に時宜を得た特別聖年だと思えます。なぜなら、そのテーマの「いつくしみ」は、教区シノドス提言の標語の副題と重なるからです。そのためこの副題を年頭教書のテーマとしました。

教区シノドスの提言が目指している目的は、「わたしたち一人一人の霊的な刷新」です。教皇様も、この特別聖年を「恵み

と霊的刷新の特別の時」(いつくしみの特別聖年公布の大勅書3)として過ごすよう望んでおられます。その霊的刷新は、神のいつくしみに真剣に目を注ぎ、わたしたち自身がそのいつくしみを現すしとなるということにあります(大勅書3参照)。わたしたちも、教区シノドスの提言を実行に移す中で、神のいつくしみを共に生き伝えることで霊的刷新に努めたいと思います。

2 神のいつくしみとあわれ
みに真剣なまなざしを

日本語で「慈しむ」は、「愛する、かわいがる、大切にすること」を意味し、「あわれむ(哀れむ、憐れむ)」は、「①可哀そうに思う、不憫に思う、同情する、②慈悲の心をかける、③めでる」ことを意味しています。

ヘブライ語で神の「ヘセド」は「忠実」「優しさ」「慈愛」を意味するので、日本語の「慈しみ」に近いようです。ただし、このギリシア語訳の「エレオス」はほとんど「憐れみ」と訳されています。「母胎」や「腸」を指す「レヘム」の複数形「ラハミーム」は、日本語の「憐れみ」とほぼ同じ意味を持っています。実際、『新共同訳聖書』では上記のように訳されています。なお、「ラハミーム」の意味はギ

3 キリストのすべてが
神のいつくしみ

イエスは、「わたしを見た者は、父を見たのだ」(ヨハネ14・9)と断言されました。つまり、イエス・キリストは、父のいつくしみのみ顔です(大勅書の表題)。顔はその人を現します。イエスは、そのことばと行い、その現存全体を通して、神のいつくしみを明らかになさいます(大勅書1・9)。

イエスのいつくしみが感情にとどまりません。人それぞれに必要な癒やし、救い、よみがえりとなるのです。重い皮膚病の患者を深く憐れみ、手で触れて癒やされます(マルコ1・41)。食べ物を持たない群衆をかわいそうに思うとパンを与え(マタイ15・32)、飼い主のいない羊のような群衆を深く憐れむと、病

人を癒やし(マタイ14・14)、教えを宣べます(マルコ6・34)。一人息子を亡くしたやもめを憐れに思うと、棺に手を触れて息子をよみがえらせ母親に返しました(ルカ7・13・14)。イエスのたとえの中の善いサマリア人も同様です(ルカ10・30・37)。

神は、自分のことしか考えない身勝手な放蕩息子を忘れたことはなく、帰ってくることを「憐れに思い」走り寄って首を抱き、以前の息子以上の扱いをして喜びを表す父親です(ルカ15・11・32)。イエスは、安息日に病気を癒やしたために安息日のおきてを破ったと非難されました(ルカ13・10・17)。しかし、神が望まれるのは、おきての厳守や祭儀への参加だけではなく、実際の憐れみの行為です(マタイ9・13)。神のいつくしみが正義やおきてを超えて、救いをもたらします(大勅書20・21参照)。それは、イエスの十字架上の死によって最も強く示されました(エフェソ2・4・6)。神のいつくしみがはつねに、あらゆる罪を凌駕するのです(大勅書3)。

4 神のいつくしみの
しるしとなる

人間はいつくしみ深い神の似姿です(創世記1・26・27)。だから、イエスは、「あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者とならなさい」(ルカ6・36)と言われます。しかも、わたしたちは神の憐れみによって救われました(テトス3・4・5、Iペトロ1・3・5参照)。だから、わたしたちも同じように行動しなければなりません(ルカ10・37、ヨハネ15・12、フィリピ2・1・5参照)。「慈悲の組」のように心と体に関する14の所作を実践することその一つです(大勅書15)。

ところで、まじめに生活していると自認している人が、なぜか神のいつくしみを理解できないのです(ルカ15・25・32)。またしばしば、ほかの人の落ち度を非難したり、裁いたりします。しかし、裁いたり、罪に定めたりするべきではなく(大勅書14)、むしろ、憐れみのこころ「腸」を持ち(コロサイ3・12)、赦し合わなければなり

ません(エフェソ4・32)。ルカ15章では、「いつくしみが、すべてに打ち勝つ力、心を愛で満たし、ゆるしを与えて慰める力として描かれています」(大勅書9)。わたしたちは、このいつくしみを生きるよう招かれています(同)。いつくしみは、「御父のまことの子を見分けるための基準」にもなります。

従って、司牧活動は常にいつくしみで行われるべきであり(大勅書10参照)、信者のことばと振る舞いは、いつくしみを伝えるものでなければなりません。それは、キリストを「信じて永遠の命を得ようとしている人々の手本となるため」(Iテモテ1・16)、また、すべての人の心の琴線に触れ、彼らが御父のもとに導く道を再び見出すことができるよう促すためです(大勅書12参照)。

浦上カテドラルや地区長教会の「いつくしみの扉」から入って神のいつくしみの恵みをいただき、そこから出て、それを伝えることができるよう、共に祈ってまいりましょう。

★ほしげ★
日本の信徒発見から15年目の年が開けた。たまたまではあるが年末からミサの作法にも変化があり、時代の節目を肌で感じている。昨年は世の中でも、大きな変化をもたらすであろうさまざまな事柄が決まっていた。安保法制、TPP、マイナンバーなど。また、パリでの同時多発テロも、世相に暗い影を落とした。確かに、今私たちは時代の節目にいる▲神学生の頃だったと思うが、ある殉教者のミサの説教でいたく感動したことがあった。当時の私が真面目に説教を聞いていたとは驚きだが、その説教師は、殉教者の行動を「流されない生き方」と表現したのだ▲流れに身を任すのもひとつの生き方。その頃私は、身を委ねるという生き方を目指していたのだと思う。『み旨のままに』という言葉が好きだった。そんな私に響いた言葉「流されない生き方」。単純にかっこいいと思った。その程度の感動だったが、若い私の心は揺さぶられた。とはいえ、その後も流れに身を任す心地よさに溺れ、どんな時でも信仰を証しするという「流されない生き方」はおろそかにしてきたように思う。節目の時にこんなことでよいのか、と自問する▲イエス様はご自分の使命を継続するために教会を立てられた。教会の構成員である私たち一人一人が、イエス様の使命を引き継いでいる。それは、全ての人間が神様の子ととして大切にされること。確かに「流されない生き方」が必要だ。(S)

創立 80 周年を迎えた純心女子学園

純心女子学園は2015年、創立80周年を迎え、同時に日本の教会は「信徒発見150周年」、長崎の町は「被爆70年」を迎えた。純心は長崎の節目を刻むこの出来事とともに80年を歩んできたといえる。

「信徒発見」から始まった近代日本カトリック教会の最大の慶事は、早坂久之助司教が日本人最初の司教に叙階され、長崎教区長として着任したことであった。司教は長崎に女子のカトリック学校の設立を志した。

必要な人材を得ることが先決であったが、あたたかも神が準備しておられたかのよう司教の招きに応えたのが、東北帝大在学中に受洗、京都府立第一高女の現職にあつて

召命の道を探していた江角ヤスと、東京女高師出身で仙台高女で教鞭をとっていた大泉かつみであった。

1934年「信徒発見のサンタ・マリアのご像」の前で教育女子修道会純心聖母会が誕生し、1935年純心聖母会を設立母体として純心女子学園が創立されたのである。早坂司教とシスター江角ヤスは、聖母マリアを教育の理想に仰ぎ、「信徒発見」を実現した女性たちのように、賢明で自立した女性を育成しようとして、純心教育に大きな夢をかけた。

しかし、創立から10年目に遭遇した原爆被災によって校舎は灰燼に帰し、動員中の「純心学徒隊」214名の生徒・教



職員を失った。あまりの悲しみに学校を閉じようとした時、遺族が願った。ある。学校を閉じないでほしい。この言葉は「娘たちは、祈りながら清らかな最期を遂げた。これは純心教育のおかげである。学校を閉じないでほしい。」この言葉は「娘たちは、祈りながら清

「10年間の純心教育」の確信となり、江角校長に再建の勇気を蘇らせ、被爆後の歴史が始まった。授業を再開した大村から長崎に復帰すると、戦後の学制の改革の中、新しい時代の福音宣教の働きができるように、学校の組織、校地・校舎を整備しながら今日に至った。

今、純心は幼稚園、中学・高校、大学・大学院の教育組織が整い、創立者が願った教会と長崎に貢献できる教育と研究の役割を担っている。日本も世界も大きな変化の時を迎えている今、教育が担う役割は大きい。純心教育の使命を全うすることを願うものである。

Sr. 片岡千鶴子

しいん、として

―いつくしみの年に―

長崎教区司祭 古巣 馨

ぽっかり空いた席

ささくれた心を潤すのは、たいして何気ない日常の、しかしはつとする「コマです。機内誌のエッセイにうなずきました。そこには、気のいい人たちの切ないほどの息づかいがありました。

電車は、さほど混んではいませんでした。それでも一応座席は満席で、立っている人もちらほらいました。そんな中、なぜか二席分だけぽっかり空いていました。よくよく見ると、理由が分かりました。席には携帯電話が落ちていたのです。でも、誰も拾わない。誰も見ない。ただ、その席だけは避けて遠巻きに座っている。煩わしいから、かわりたくないのです。『拾わない、近よらない』社会の構成員たちが、しつかり吊り輪を握りしめたまま立っていました。

しかし、電車が次の駅に到着した時でした。少し離れた席に座っていた年配の女性が、携帯電話を拾いに向かったのです。女性が拾おうとすると、横に座っていた青年が、「あつ、僕が」と声をかけました。「あなた、ここで降りるの?」「はい」と青年。僕が駅員さんに渡します」と言うなり、携帯をもつて飛び出して行きました。二人に限らず、電車が走っていたこの一区間、誰もがずつと気になっていたはず。一人が動き出せば、なぜか間髪をいれずに次の人が動き出す。なんとも素朴で、気のいい人たちのほつとさせる振る舞いです。

ただ、あの青年がホームに降りて、真つ先に立ち上がった女性が席に戻っても、電車は動き出しません。その直後、今度は駅員さんが駆け込んできて、何かを必死で探し回っている。携帯ですか?」とそばにいた乗客が尋ねると、うなずいた駅員さんに、「それなら、たつた今、あの人が持つて走りました」とホームを指さします。すると、今度は一斉に乗客たちがホームへ目を向け、青年を探そうとします。中には立ち上がって、のぞき込む人もいます。『あつ、あそここの階段を上っている人です!』客に教えられた駅員が、青年を追いかけてホームを走りまします。幸い気づいた青年も足を止め、無事に携帯電話は駅員さんの手に渡りました。

携帯を無事に拾得した駅員が、無線で事の次第を告げながらホームを歩いて行くのを、みんなが窓越しに眺めていました。その時、乗客は

何ともほの温かい気持ちにさせられました。あの駅員さんが自分の白い手袋で、その携帯の指紋を、息を吹きかけながら一生懸命拭いていたのです。落としたり汚れたことを無意識に拭いてやる人がいる。その拭かれた画面に、人の優しさが映っているという豊かな光景です。

人から人へと渡った携帯は、触れた人の顔もきれいに拭き取られて、無事に持ち主の元に返って行く。大都会東京のと真ん中で、『どうだい、こんな生き方もいいだろう』という声が聞こえてきました。世知辛く、さもしい心には眩し過ぎました。

最初に向く人から

乗客の顔から笑みがこぼれたこの出来事は、年配の一人の女性が自分の席から立ち上がり、ぽっかり空いた切ない場所に向かったことから始まりました。何をすべきか内心誰もが分かってい

きに座っている長崎の教会のものの悲しさが背景にあります。いるべきはずの兄弟や子どもの帰りを待ち望み、共に神を讃えることは「教会の第一の仕事」(『救い主の使命』34)だからです。『もはや私たちは受け身の態勢で、教会に人が戻ってくるのをただ待っているわけにはいきません。現状維持の教会から、積極的に探し求める教会へと変わらねばなりません』(『アパルシダ文書』548)。母なる教会と長崎の信者たちの思いは同じです。『この子には洗礼を授けていませ。親の務めを果たしたいのです。』「洗礼を授けただけで、聖体もゆるしの恵みも知らない孫です。何とかできませんか。」「教会での結婚式はしてないし、その後いろいろあつて離婚しました。息子の教会での席はもうなかとでしょうか。』最初に向く人は誰でしょうか。出向いて来た人に、「安心しなさい。」「もう泣くな」と言つて引き寄せ、手配りするのは誰でしょうか。ぽっかり空いた席に最初に向く人がいなければ何も変わりません。

心に通じる道

出向く人は、かわり合う人、寄り添う人

謹賀新年

長崎大司教区

大司教	高見 三明(43)
原塚 正人(65)	諫 早 市
佐藤 哲夫(59)	大 司 教 館
川添 猛(55)	大 司 教 館
下川 英利(55)	諫 戸 早 市
山内 豊平(55)	大 司 教 館
山内 清海(54)	お告げ本部
下村 徹大(53)	大 司 教 館
村中 司 長	与 市
峰 徳美(53)	崎 市
三村 誠一(52)	大 司 教 館
平野 勇(52)	鹿 子 前 市
野下 千年(52)	セ ン タ ー
堤 好治(52)	佐 賀 呼 子
宮川 俊行(52)	幼きイエズス
小島 栄大(51)	修道会司祭館
萩原 勲(49)	大 司 教 館
阿野 武仁(49)	香 丸
川上 忠秋(48)	深 堀 尾 焼 館

川内 和則(30)	鮑 浦
久志利津男(30)	浦 上
高野 治(30)	宝 亀
下山 盛朗(29)	稲 佐
鳥瀬 文武(29)	水 浦
牧山 強美(27)	大 神 学 院
中村 倫明(27)	三 浦 町
福島 光明(26)	山 田
眞浦 健吾(26)	小 神 学 院
中濱 敬司(26)	セ ン タ ー
紙崎 新一(25)	植 松
白浜 満(25)	大 神 学 院
平本 義和(25)	天 神 学 院
葛嶋 秀喜(25)	相 浦
鍋内 繁喜(25)	大 曾
山村 憲一(24)	福岡コレジオ
岩崎 晋吾(23)	浦 頭
下村 英知(23)	セ ン タ ー
中田 輝次(23)	大 神 学 院
湯浅 俊治(21)	大 神 学 院
浅田 照明(21)	西 木 場
大水 文隆(21)	三 ツ 留
辻原 達也(20)	奈 崎
川原 拓也(20)	桐 留
松田 聡史(19)	桐 留
山本 一郎(18)	愛媛・今治
嘉松 宏樹(18)	中央協議会
中島 誠志(18)	大 神 学 院

山田 良秋(17)	島 原
川口 昭人(17)	神 ノ 島
一ノ瀬輝幸(17)	熊本・水保
岡 秋美(17)	馬 込
熊川 幸徳(16)	イ タ リ ア
大瀬良直人(16)	黒 島
竹内 英次(15)	福岡・二日市
岩本 繁幸(14)	セ ン タ ー、時津
尾高 修一(14)	紐 差
川原 昭如(14)	大 司 教 館
葛島 輝義(13)	五 島
工藤 秀晃(13)	木 浦
鶴崎 伸也(13)	土 井 ノ 鉢
竹谷 誠(12)	三井楽、貝津
前田 達也(12)	大 司 教 館
本田 靖彦(12)	仲 知
岩下 和樹(10)	大 崎
山口竜太郎(10)	出 津
鶴巻 健二(10)	木 鉢
汐留 義和(9)	太 田
熊谷 裕司(9)	小 神 学 院
谷脇誠一郎(8)	俊 町
山添 克明(7)	根 崎
野濱 達也(7)	早 岐
岩下 裕志(6)	志 江
中尾 直通(5)	小 神 学 院
大水 満(3)	小 神 学 院
中野健一郎(2)	大 野
川端 志範(1)	浦 上

小島 明(新) 福 江 上	平 孝之(20) 修 練 院
稲田 伸也(新) 浦 上	西本 仁史(17) 小長井修道院
●イエズス会	●聖アウグスチノ修道会
アギラール・J・ホセ(56)	マイケル・ヒルデン(42)
二十六聖人修道院	平野 哲也(22)
松村 信也(22) 立山修道院	チャリー・バナエボ・
デ・ルカ・レンゾ(19)	ボムセノ(5) 山
●コンベンツアル	●レデンブートル会
●聖フランシスコ修道会	井田 明(29) 愛 宕
優(60)	三輪 周平(13)
●フランシスコ会	●サレジオ修道会
片岡 哲夫(63) 長崎修道院	ブリ・ヤン(34) 愛 野
片岡 仁志(53)	ソボン・タデウス(30)
戸村 悦夫(47) 本 原	イエスのカリタス
関口 七郎(39) 長崎修道院	古木真理一(28)
江夏 国彦(36) 本 原	カリタス診療所

●韓国殉教者聖職修道会	●オプス・デイ
金 桐旭(5) 滑 石	尾崎 明夫(30) 長 崎
●オプス・デイ	木村 昌平(12)
大川 好洋(25) 長崎修道院	恵介(2)
ヴァルガス・オスヴァルド(17)	西 町

()内は叙階年数

しいん、として

だいたいお母さんてものはさしいんとしたとこがなくちゃいけないんだ(茨木のり子詩「みずうみ」)

何があつたのか、こう言い放ちながらランドセルを背負つて通り過ぎる二人の少女。『よく言った』と喝采したあと、母だけじゃないよと呟く詩人。

長崎の教会はほんやりとした不安を抱えています。祈りの家が趣を変えています。コンサート会場、観光資源、商売の家、内陣に垂れ下がるスローガン……。鳴り物入りの騒がしさの中に神と語る場所などありません。嬉しさと穏やかさを宿すいつくしみは、キリストのみ顔の観想から生まれてきます。受け入れ、見守り、養うためには底知れぬ沈黙が必要です。『神は沈黙の友です』(マザー・テレサ)。

長崎の教会の原体験から150年、衣服の裾にでも触れたら癒やされる教会となるために、しいんとした静けさと沈黙の中に身を置きましょう。こんなことは号令をかけず、まずは私とあなたから始めましょう。

賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

寝食を共に親睦を深める

ながさき県民の森で外国籍信徒の交流会



わたせる機会がなかった人々が、寝食を共にし親睦を深めた。

城山教会のチャペル・ボムセノ師(聖アウグスチノ修道会)司式によるミサの後、高見三司大司教がサプライズの訪問。参加者が用意した国際色豊かな料理を囲みながら、和やかな時を過ごした。

教区人権委員会(川口昭人委員長)は昨年11月14日(土)と15日(日)の1泊2日で、長崎市の「ながさき県民の森」において、県内に居住する外国籍信徒の交流会を行った。

交流会には佐世保地区から50人、長崎市と諫早市から42人が参加。英語ミサにあずかりながら、これまでゆっくり顔を合

「行って、あなたも同じようにしなさい。」

ルカ10章37節

難民移住移動者委員会の全国研修会が10月20日、22日、佐世保・三浦町教会で開催され、大村入国管理センターを訪問しました。

センターの設置目的は「不法に入国したり、在留中に好ましくない行為をして、日本から退去を強制されることになった外国人を送還できるまでの間とどめておく」ためです。施設は重苦しいもので、窓から木々の緑や青空が見えない世界でした。屋外運動場が設けられていますが、土や木など自然の安らぎはなく、

大槌ベースボランティア募集

●2月11日(木)17日(水)
●3月10日(木)16日(水)
(2/24締切)

申し込みは所属小教区へ。問い合わせは教区本部事務局(松尾)まで。

TEL 095・842・4450
FAX 095・842・4460

召命を支える犠牲

平戸地区と教区女性部が寄付

が集めた援助物資(米・野菜・日用品など)と寄付金

11月22日(日)10時半

頃、平戸地区評議会の松本久幸議長ら5人が長崎カトリック神学院を訪れ、神学生・志願生のために同地区の各小教区



援助物資を運ぶ神学生

を届けた。同地区の取り組みは今回42年目で、純心聖母会とお告げのマリア修道会の各志願院、大司教館、カトリックセンターにも贈られた。神学生らは感謝し、「これからも召命の道を歩んでいきたいと思っていますので、お祈りをお願いします」と述べた。

命は愛とゆるしから

教区主催「死者の月・追悼ミサ」

死者の月に当たる11月の23日(月)、長崎教区の亡くなったすべての人のために祈る教区主催の追悼ミサが、高見三司大司

す。顔も名前も知らない人ですが、①憐れに思ったサマリア人は②近寄ります。③傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をします。

④自分のろばに乗せま。⑤宿屋に連れて行って介抱します。⑥介抱をしてくれるように頼みます。⑦費用を払います。一つ一つが神様の私たちに對する愛を示し、神様の心を教えてくださっているように思えます。そして、それら



みことばにふれて124
Sr. 藤村みちよ
(お告げのマリア修道会)

どのように感じ、日々を過ごしていることでしょうか。

よきサマリア人のたとえには、サマリア人にとつての外、国人が傷を負って倒れていま

高山右近の不思議な導き

日本二十六聖人記念館館長 デ・ルカ・レンゾ



レンゾ師(左)と作者サヴェリ氏

高山右近像でありながら、十字架の形で白い大理石を貫く光が何よりも印象的です。やはり、人間としての右近には絶対的な主イエス、特にその十字架が中心であり、彼の原動力であったことを見事に語っている作品です。

なぜこの作品が日本二十六聖人記念館で展示されるに至ったのか、その理由を考えますと不思議な導きがあったとしか言えません。私はサヴェリ

氏のこと、また彼がこの右近像を作ったことをつい最近まで知りませんでした。しかし、記念館で展示したいという話をいただいた時、サヴェリ氏がかかなり前から右近のことに興味を持ち、その生き方に憧れていたことを知り、彼の作品に興味を持ち始めました。イタリアの現代的なアーティストがいにしえの侍、高山右近に憧れて、その作品を長崎で展示したいと考えたことは、右近の証しが現代人に知られるべき通用するところが多いことを物語っているように思えました。

さまざまな制限があった中で、除幕式・作者による説明・レセプション・演奏会が無事に行われました。このことも、不思議な力が働いてこそできたと思えてなりません。

振り返りますと、昨今の右近去400周年を迎えた今こそ、列福の準備が整ったことを表しています。リーダー的な存在が求められる現代だからこそ、忠実に生き、忠実にこの世を去った右近が残した模範が、信者のみなならず、この社会全体にますます必要になってきました。教会として、右近の精神性を広める使命を感じたいものです。

訂正

〔長崎カトリック神学院「カトリック教報」2015年12月号3面「感謝・香典返し」の欄に、堤恵吉さんの所属教会を浦上と記載していましたが、正しくは「木鉢」です。訂正し、お詫び申し上げます。〕

〔教区広報委員会〕

12月号3面「核兵器廃絶に向けて」の本文3行目の日付「11月5日」を「11月15日」に訂正いたします。

ヨゼフ 竹谷 茂さん
(竹谷誠師の父)



昨年11月23日、老衰のため福岡市内の病院で逝去。82歳。

1933年6月12日生まれ。仲知小教区の米山教会出身。父親が戦死したため、子どもの頃から家計を支え、中学卒業とともに漁師として約50年間働いた。その後、佐賀で酒造り、地元仲知では養殖にも携わった。2男5女の父親として家族を養い、米山教会では6年間、教会役員を務めた。次男の竹谷誠師(三

井楽・貝津小教区主任)によると「口下手で、人前に出るのを好まない性格。釣りが唯一の趣味だったが、それ以外は畑に出るなど、とにかく働くことが生きがいのようなだった」という。

通夜は11月24日、葬儀ミサ・告別式は高見三司大司教主司式により25日、福岡・笹丘教会で執り行われた。

長崎の教会群インフォメーションセンターニュース〔第3号〕

あけましておめでとうございます。皆様方におかれては、健やかに新年をお迎えになったことと拝察します。

さて、私共の活動もはや10年目を迎えます。

そして今年7月、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の登録についての審議がトルコで行われる予定です。長崎大司教区、関係行政機関、そして私共をはじめ多くの民間団体の方々も「登録」の二文字を心まちにしています。

これからの6ヶ月、受け入れ態勢の整備等様々な準備に取り掛かります。ご協力よろしくお願い致します。

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 剛
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896

精道三川台小学校(男子校)

本校はカトリックの教育理念に従って全人格的な成長を促し、本当の幸せを知り、味わい、そして周りの人々にその幸せを与えることのできる子供たちを育成します。

校訓: ①自由と責任 ②ボスマス(POSSUMUS) ③英雄の模範

児童募集

〔学校説明会・公開授業〕
1/23(土)10:00~11:15 ご予約不要
〔平成28年度入学に関する日程〕
募集人員: 男子30名 選考方法: 審査・保護者面接

	入学審査	出願期間
第2回	平成28年1月30日(土)	平成27年12月11日(金)~平成28年1月29日(金)
第3回	平成28年2月13日(土)	平成28年2月1日(月)~2月12日(金)

〔お問合せ・資料請求〕
〒852-8121
長崎市三川町1234-1
TEL 095-845-6846
http://www.seido.ed.jp/